

■ 施策評価シート

| | |
|------------|---------------|
| まちづくりの基本方針 | 「活気」があふれるまちへ |
| 分野 | 情報・交流 |
| 基本方針 | まちづくり情報の提供の充実 |

| | |
|------|---------------|
| 施策番号 | 21-01-① |
| 施策名 | 地域のまちづくり情報の提供 |

施策の概要
市内の地域づくりの取組に係る情報受発信の基盤を充実させ、協働のまちづくりの活発な展開に資するよう、地域のまちづくり情報の積極的な提供に努めます。

| 成果指標(単位) | 地域のまちづくり情報が簡単に手に入ると思う市民の割合(%) | | | | |
|----------|-------------------------------|--------|--------|-------|-------|
| | 平成28年度 (※基準値) | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 目標値 | | 25.0 | 26.0 | 27.0 | 28.0 |
| 実績値 | 24.1 | 20.7 | 22.8 | 20.6 | 22.1 |

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、地域のまちづくり情報が簡単に手に入ると思う市民の割合は、前年度より1.5%増加したが、目標値未達であった。効率よく情報を届ける手法として紙媒体からICTを活用した様々な媒体への切り替えも進めているが、ICTを利用できる人・できない人の格差も生じている。

施策の達成度評価
まちづくり情報の提供については、第2次草津市協働のまちづくり推進計画においても市の具体的施策に位置づけられており、市の広報や情報誌に加えて、HPやSNSなどICTを活用した情報発信も踏まえうえて、今後も市の積極的な支援・協力が必要である。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方
市民総合交流センター(キラリエ草津)の登録団体であるキラリエサポーターをはじめとした市民公益活動団体等の活動情報を積極的に発信してもらえるよう、(公財)草津市コミュニティ事業団やまちづくり協議会と協力し、可能な範囲で市も情報発信に取り組んでいく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項
(公財)草津市コミュニティ事業団やまちづくり協議会の情報発信力

■ 施策に含まれる主要事業一覧

| 主要事業 | 担当課 | 成果達成度 (主要事業のみ) | 達成度評価理由 |
|-------------|----------|-------------------|---|
| 地域まちづくり情報事業 | まちづくり協働課 | ○ | (公財)草津市コミュニティ事業団やまちづくり協議会のHP、情報誌等で積極的に地域の情報の発信に努めた。 |

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

| 事務事業 | 担当課 |
|------|-----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

成果達成度の表示について
◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった
※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

| | | | |
|------|---------|------------|---------------|
| 施策番号 | 21-01-② | まちづくりの基本方針 | 「活気」があふれるまちへ |
| | | 分野 | 情報・交流 |
| | | 基本方針 | まちづくり情報の提供の充実 |
| 施策名 | 行政情報の提供 | | |

施策の概要
 行政情報の提供を進めることにより、市民との情報の交流と共有化を促進し、市民による活発なまちづくり活動が展開されるよう図ります。

| 成果指標(単位) | ホームページアクセス数(万件) | | | | |
|----------|------------------|--------|--------|-------|-------|
| | 平成28年度 (※基準値) | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 目標値 | 460 | 460 | 465 | 470 | 475 |
| 実績値 | 430 | 462 | 508 | 523 | 797 |

成果指標実績に対するコメント
 市ホームページのアクセス数は、前年度より52%増加した。アクセス数の上位10位中、新型コロナウイルス関連の記事が4項目入っていることから、新型コロナウイルスに対する市民の関心の高さがアクセス数の増加に影響していると考えられる。また、市民が分かりやすく情報を入手できるよう、新型コロナウイルスに関する記事をまとめた総合サイトを新たに作成したことで、よりアクセス数の増加につながったと考えられる。

施策の達成度評価
 市政や市民に密接に関連する情報を正確かつ迅速に伝達するため、広報紙の表紙や特集記事などにQRコードを設定し、市ホームページと連動した情報発信を行った。また、令和2年12月に新たに導入したLINEをはじめ、Facebookの投稿にも市ホームページのリンクを貼るなど、アクセス数の増加につながるよう積極的に取り組んだ。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方
 市ホームページの記事の充実とともに、広報紙やLINE、Facebook、Youtubeなど、様々な媒体と連携させて情報発信を行い、市民が必要な情報を入手できるように取り組んでいく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

| 主要事業 | 担当課 | 成果達成度 (主要事業のみ) | 達成度評価理由 |
|-------------|-----|-------------------|--|
| 広報くさつ発行事業 | 広報課 | ○ | 市民が求める情報と市民に伝えるべき情報を精査し、身近で親しみやすく、読んで役に立つ広報紙となるよう取り組めたため。 |
| インターネット広報事業 | 広報課 | ○ | アクセスランキングの定期的な更新や、重要なお知らせに関心の高い記事を掲載するなど、市民が必要な情報を入手しやすくすることで、アクセス数の増加に繋がったため。 |

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

| 事務事業 | 担当課 |
|--------------|-----|
| 広報映画制作事業 | 広報課 |
| 人にやさしい広報作成事業 | 広報課 |
| 放送委託事業 | 広報課 |
| パブリシティ推進事業 | 広報課 |
| 市長広聴事業 | 広報課 |
| | |
| | |

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

| | |
|------------|--------------|
| まちづくりの基本方針 | 「活気」があふれるまちへ |
| 分野 | 情報・交流 |
| 基本方針 | 多様な交流活動の展開 |

| | |
|------|---------------------|
| 施策番号 | 21-02-① |
| 施策名 | 産学公民との協働によるまちづくりの展開 |

施策の概要
 大学等と行政による共同研究や産学公民との協働により、複合化した課題に対して取り組み、様々な市民活動とともに新たな活動の創出を図りながら、まちづくりを展開します。

| 成果指標(単位) | 立命館大学等との共同研究(件) | | | | |
|----------|------------------|--------|--------|-------|-------|
| | 平成28年度 (※基準値) | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 目標値 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 実績値 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 |

成果指標実績に対するコメント
 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出等により、社会全体が行動制限や接触制限を受けていたことで、他機関とも十分な調整ができなかったことから実施には至らなかった。

施策の達成度評価
 産学公民の様々な立場の者が話し合えるプラットフォームとして、アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)を運営し、事業プロジェクトや各種セミナー等を通じて、新たな交流機会の創出やまちづくりの発想等に繋がっている。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方
 プラットフォームとなるUDCBKにおいて、引き続き様々なプログラムを展開しながら、産学公民の多様な知見を持ち寄り未来のまちづくりを推進していく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項
 新型コロナウイルス感染拡大に伴う3密回避や行動制限、接触制限等の影響

■ 施策に含まれる主要事業一覧

| 主要事業 | 担当課 | 成果達成度 (主要事業のみ) | 達成度評価理由 |
|------------------|---------|-------------------|--|
| アーバンデザインセンター運営事業 | 草津未来研究所 | ○ | 産学公民のそれぞれの立場からの様々な事業プログラムの展開を図ることができた。 |

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

| 事務事業 | 担当課 |
|-------------|---------|
| 共同研究推進事業 | 草津未来研究所 |
| 草津未来研究所運営事業 | 草津未来研究所 |
| | |
| | |
| | |

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

| | |
|------------|--------------|
| まちづくりの基本方針 | 「活気」があふれるまちへ |
| 分野 | 情報・交流 |
| 基本方針 | 多様な交流活動の展開 |

| | |
|------|--------------|
| 施策番号 | 21-02-② |
| 施策名 | 近隣自治体との連携の強化 |

施策の概要
 行政区域を越えた共通の課題や、本市単独での対策が困難な課題に、関係する自治体間で交流し、協力して取り組むことができるよう、自治体間の連携を強めます。

| 成果指標(単位) | 多様な交流活動の展開に満足している人の割合(%) | | | | |
|----------|--------------------------|--------|--------|-------|-------|
| | 平成28年度 (※基準値) | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 目標値 | | 17.0 | 18.0 | 19.0 | 20.0 |
| 実績値 | 15.8 | 10.9 | 13.2 | 13.8 | 12.1 |

成果指標実績に対するコメント
 市民意識調査の結果、多様な交流活動の展開に満足している市民の割合は令和元年度より1.7ポイント減少し、目標値を達成することができなかったが、関係する自治体との連携を通じた共通課題の情報共有といった取組を進めることができた。
 引き続き、行政区域を越えた広域的な課題などについて、取組を進めるため、関係する自治体との相互連携を図っていく。

施策の達成度評価
 昨年度に引き続き、関係する自治体との連携を通じた共通課題の情報共有や、JR西日本への要望活動等について、協力しながら取組を進めることができた。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方
 関係する自治体と継続した連携、事業展開を行い、引き続き、行政区域を越えた取組を推進する。
 また、新たな課題の出現、状況の変化等により、必要に応じて連携体制の見直しや確立・充実に向けて検討を行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

| 主要事業 | 担当課 | 成果達成度 (主要事業のみ) | 達成度評価理由 |
|----------|-------|-------------------|---|
| 広域行政推進事業 | 企画調整課 | ○ | 近隣自治体と連携し、本市単独での対策が困難な課題等に対して、取り組むことができたため。 |

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

| 事務事業 | 担当課 |
|----------------------|-------|
| 湖南広域行政組合負担金事務(議会総務費) | 企画調整課 |
| | |
| | |
| | |
| | |

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

| | |
|------------|--------------|
| まちづくりの基本方針 | 「活気」があふれるまちへ |
| 分野 | 情報・交流 |
| 基本方針 | 多様な交流活動の展開 |

| | |
|------|----------|
| 施策番号 | 21-02-③ |
| 施策名 | 多文化交流の促進 |

施策の概要
 姉妹都市との交流や、国際理解講座、国際交流イベントの開催等、市民に国際交流の機会を提供し、多文化共生に対する意識の向上を図ります。

| 成果指標(単位) | 国際交流事業延べ参加者数(人) | | | | |
|----------|------------------|--------|--------|-------|-------|
| | 平成28年度 (※基準値) | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
| 目標値 | | 2,300 | 2,350 | 2,400 | 2,450 |
| 実績値 | 2,262 | 2,630 | 2,500 | 2,175 | 1,820 |

成果指標実績に対するコメント
 新型コロナウイルス感染症による事業中止の影響により、草津市国際交流協会が実施した国際交流事業の延べ参加人数の実績が減少し、目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価
 草津市国際交流協会が開催した外国人住民との交流イベントや国際理解講座等を支援した。コロナ禍においても、国際理解講座は、オンラインを利用しながら開催し、多文化交流や多文化共生に努めた。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方
 引き続き草津市国際交流協会を支援し、草津市多文化共生推進プランに基づき多文化共生に対する意識向上に努める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント事業を縮小・中止した。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

| 主要事業 | 担当課 | 成果達成度 (主要事業のみ) | 達成度評価理由 |
|---------|----------|-------------------|--|
| 国際交流推進費 | まちづくり協働課 | ○ | 新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での日本語教室や交流事業は縮小・中止となったが、ICTを活用してオンラインで各種事業を行った。 |

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

| 事務事業 | 担当課 |
|-----------|----------|
| 姉妹都市等交流事業 | まちづくり協働課 |
| | |
| | |
| | |

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。